

第27回孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム幹事会 議事次第

令和7年5月21日（火）
17:00～18:00
（オンライン開催）

1. 開会

2. 報告事項

- （1）分科会等
 - ・分科会1について
 - ・分科会3について
- （2）その他
 - ・孤独・孤立対策強化月間
 - ・社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金等

3. 議題

- （1）令和7年度シンポジウムについて

4. その他

5. 閉会

【配付資料】

- 資料1 分科会1について
- 資料2 分科会3について
- 資料3 孤独・孤立対策強化月間
- 資料4 社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金等
- 資料5 令和7年度シンポジウムについて

孤独・孤立対策強化月間での取組について (分科会1 関連)

- 「つながりサポーター養成講座」(令和7年5月強化月間での取組等)
「孤独・孤立対策強化月間」に関連して、以下などを実施。

○「ぷらっとば〜す」での配信取組

- ・「大西参与×ヒカリノ つながりサポーター養成講座」

つながりシアター 2025/5/9 13:00~14:15 2025/5/11 15:00~16:15

大西参与×ヒカリノ つながりサポーター養成講座

大西孤独・孤立対策推進参与と「ヒカリノ」による「つながりサポーター養成講座」を配信します。この動画を見ればあなたも「つながりサポーター」です！

内閣府 孤独・孤立対策推進室 参与 大西 達 氏

孤独・孤立に寄り添う光の妖精 ヒカリノ

- ・ 東京海上日動 対談動画

つながりシアター 2025/5/7 15:00~16:00 2025/5/10 14:00~15:00

東京海上日動 対談動画

東京海上日動神奈川支店におけるつながりサポーター養成講座の実施に関する思いと、講座受講の結果をどのように活かしているか、会社としての地域貢献についてなど、大西参与と松田理事 神奈川支店長が対談します。

※なお、「ぷらっとば〜す」では、大西参与のご登壇で下記のイベント等も実施

- ・「大西参与の部屋」
- ・ ロートこどもみらい財団 座談会ミニシンポジウム
「ロートこどもみらい財団とは？～君の「好きなこと」は誰かと同じ、孤独・孤立の付き合い方を考えよう」
- ・ 全国フードバンク推進協議会 オンラインシンポジウム



ご参考:令和7年度5月「孤独・孤立対策強化月間」「ぱらっとばーす」オンラインイベント

カテゴリ	イベント名	イベント概要	団体名
大西参与の部屋	-	内閣府孤独孤立対策推進室の大西連参与が、各回、様々な分野からゲストのみなさまをお招きして、孤独・孤立対策をテーマとしたトークセッションを行います。	-
大西参与の部屋	孤独・孤立対策×社会課題	特定非営利活動法人新公益連盟 共同代表理事/特定非営利活動法人クロスフィールズ 代表理事 小沼 大地 氏 特定非営利活動法人新公益連盟 孤独・孤立対策担当 井澤 徹 氏	特定非営利活動法人 新公益連盟
大西参与の部屋	孤独・孤立対策×企業	ウエルシアホールディングス株式会社 会長 池野 隆光 氏	ウエルシアホールディングス株式会社
大西参与の部屋	孤独・孤立対策×社会福祉協議会	社会福祉法人全国社会福祉協議会 会長 村木 厚子 氏	社会福祉法人 全国社会福祉協議会
大西参与の部屋	孤独・孤立対策×こども食堂	認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ 理事長 湯浅 誠 氏	認定NPO法人全国こども食堂支援セン ター・むすびえ
大西参与の部屋	孤独・孤立対策×哲学対話	作家 永井 玲衣 氏	-
大西参与の部屋	孤独・孤立対策×アート	一般財団法人100万人のクラシックライブ 代表理事 蓑田 秀策 氏	一般財団法人 100万人のクラシックライブ
大西参与の部屋	孤独・孤立対策×オンライン相談	特定非営利活動法人あなたのいばしょ 理事長 根岸 督和 氏	特定非営利活動法人 あなたのいばしょ
大西参与の部屋	孤独・孤立対策×社会的処方	一般社団法人プラスケア 代表理事 西 智弘 氏	一般社団法人 プラスケア
シンポジウム、対 談配信など	ロートこどもみらい財団 座談会ミニシンポジウ ム「ロートこどもみらい財団とは？～君の「好 きなこと」は誰かと同じ、孤独・孤立の付き合 い方を考えよう	ロートこどもみらい財団では次世代を担うこどもたち1人ひとりの個性を尊重し、自分らしく探求しようとする心の“眼の芽”を育てる 支援を行っており、コミュニティづくり、自身のスキルやアイデアを磨くプログラム、アイデア実現に向けた実践的な学びなどの取 組をしています。今回は、この取組をご紹介いただくとともに、取組に関わるみなさまとともに孤独・孤立について考えるパネルディ スカッションを行います。	公益財団法人 ロートこどもみらい財団
シンポジウム、対 談配信など	全国フードバンク推進協議会 オンラインシンポ ジウム	孤独や孤立の問題が深刻化する中で、フードバンクが果たす役割とは？食品を届けることは、単なる支援にとどまらず、人と人をつ なぎ、見えづらい困りごとに寄り添うきっかけにもなります。本イベントでは、フードバンクの現場から見える課題や工夫、行政や地域 と連携した取り組みなどを通じて、食を介した新しいつながりの可能性を共に考えます。	全国フードバンク推進協議会
シンポジウム、対 談配信など	100万人のクラシックライブ 蓑田氏と清水聖 義氏(前・群馬県太田市市長)との対談動画	あらゆる市民にとって「日常に音楽があふれる街」であるために... 群馬県太田市では、行政の取り組みの一つとして100クラを取り 入れています。100クラの魅力は「どこでも出前のように開催できて、みんな元氣になって帰ることができる」ことだと語る清水聖義 氏(前・群馬県太田市市長)。音楽を通じて「人と人をつなぐ」一孤独孤立対策にも通じるさまざまな取り組みについて、財団代表理事・ 蓑田氏との対談をお送りします。	一般財団法人100万人のクラシックライ ブ
シンポジウム、対 談配信など	東京海上日動 対談動画	東京海上日動神奈川支店におけるつながりサポーター養成講座の実施に関する思いと、講座受講の結果をどのように活かしていけ るか、会社としての地域貢献についてなど、大西参与と松田理事 神奈川支店長が対談します。	東京海上日動
シンポジウム、対 談配信など	あなたのいばしょ トークセッション『望まない 孤独のない社会の実現』に向けたNPO×自治 体連携」	盛岡市とNPO法人あなたのいばしょは2025年1月22日、「全てのこどもが健やかに成長できる環境づくり」「孤独・孤立に悩む人を 誰ひとり取り残さない社会」「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現に資することを目的とした「こども相談に関する連携 協定書」を締結しました。締結から数ヶ月が経ち、対談形式で連携協定にける想いを語ります。	特定非営利活動法人 あなたのいばしょ
取組紹介	Google 紹介動画	Googleの社内において社員同士のつながりを生み出すための様々な仕掛けや取組を動画でご紹介します	Google合同会社
シンポジウム、対 談配信など	あなたのいばしょ 講演会「孤独・孤立を防ぐた めのチャット相談」	24時間365日、年齢や性別を問わず誰でも無料・匿名で利用できる「あなたのいばしょチャット相談」。運営法人のNPO法人あなた のいばしょ 理事長の根岸氏が、「望まない孤独・孤立を防ぐためのチャット相談について」、お話しします。	特定非営利活動法人 あなたのいばしょ
シンポジウム、対 談配信など	大西参与×ヒカリノ つながりサポーター養成 講座	大西孤独・孤立対策推進参与と「ヒカリノ」による「つながりサポーター養成講座」を配信します。この動画を見ればあなたも「つながり サポーター」です！	-

ご参考:令和7年度5月「孤独・孤立対策強化月間」「ぷらっとばーす」オンラインイベント

カテゴリ	イベント名	イベント概要	団体名
体験イベント	誰ひとり取り残さない社会に バーチャルフォトウォーク	バーチャルフォトウォークは病気・障がい・高齢等で外出困難な人々にも自然の美しさを届けたい、という願いを持ったカナダの写真家、ジョン・パトリルにより始められました。以来今日に至るまで13年間、視聴者の心を温め続けています。日本では2016年に活動を開始、コロナ禍を機に視聴対象者を広げ、孤独・孤立を癒してきました。現在ではバーチャルフォトウォークを活用し社会的弱者に対するいたわりを体験学習する「思いやりのヒーロー育成プログラム」などの教育事業も展開しています。今回の「ぷらっとばーす」のイベントでは、国外のプレゼンター4名が現地の素晴らしい景色をライブで見せてくれることになっています。ぜひご自宅から解放感あふれる海外旅行を楽しんでください。	NPO法人バーチャルフォトウォーク
イベント中継	100万人のクラシックライブ	各地で実施している100万人のクラシックライブコンサートを中継配信いたします。	一般財団法人100万人のクラシックライブ
体験イベント	《アートリップ(アートの旅)》対話型アート鑑賞@オンライン	オンライン上で、アート作品を鑑賞しながら自由に感じたことを語り合う「アートリップ」を体験できます。アートコンダクターの進行のもと、オンラインでも心温まる対話が生まれる新しい鑑賞体験をお楽しみください。	一般社団法人ArtsAlive
イベント中継	レモン大学～血圧・減塩教室～	本講座では『血圧』と『減塩』に関係するレモンの知られざるチカラをお伝えいたします。レモンと高血圧の関係や、おいしく減塩をするためのレモン活用法など日常生活に役立つ豆知識をご紹介します。ご自宅で簡単に再現できる食卓を彩るレモンレシピも必見です。	ウエルシア薬局株式会社
イベント中継	子どもも大人も 楽しみ、つながるイベント「子どもの居場所フェスタ」	「家庭でも学校でもない居場所～つながりつくる、子どもの未来～」同じ境遇にいる保護者や子ども達と、活動団体が様々なプログラムを通じてつながる情報交換会です。 ・居場所について知りたい、行ってみたい ・誰かとつながっていたい 会場はウエルシアの2階にある「ウエルコミいちばら」です。どなたでも気軽に立ち寄っていただけます。当日のプログラムは盛りだくさん！少しずつ中継で、ご紹介します。 ○講演会・座談会 ○防災・減災、起震車体験+防災訓練 ○こども薬剤師体験・握力測定チャレンジ ○eスポーツ大会 ○個別相談会 ○企業ブース出展 ほか	ウエルシア薬局株式会社
展示	公益社団法人日本社会福祉士会 eラーニング講義	日本社会福祉士会は専門職団体として様々な分野のスペシャリストを講師として、e-ラーニング講座を配信しています。この講座は、会員、社会福祉士以外の方もID、パスワードを設定の上、受講ができますので、よろしければ下記リンクから受講をしてみてください。 https://jacsw.or.jp/csw/eLearning/	公益社団法人日本社会福祉士会
展示	筑波大学太刀川研究室 個立ってなんだろう？ 個立E+E空間	私たちのプロジェクトは孤立していても、社会生活や健康の危機に至らず、個人が創造的な生活を送ることができる健康な「個立」社会の創生を目指して、孤独の一次予防活動をしています。どんな活動をしているのか、紹介動画をご覧ください。	筑波大学太刀川弘和研究室
展示	認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ	こども食堂は、しばしば「食べられない子が行くところ」と誤解されていますが、ほとんどのこども食堂は、子ども・保護者・地域の高齢者が集い、多世代が交流する地域の居場所として広がってきました。子どもの貧困対策から孤食対応、子育て支援や高齢者の健康づくり、そして地域のにぎわいづくりを担っています。「むすびえ」の目標は、2025年までに全小学校区2万ヶ所にこども食堂がある状態を実現すること。そしてこども食堂のある風景があたりまえになる地域と社会を実現することです。それが、地方創生と地域福祉の両立、孤独孤立対策と一億総活躍の両立を可能にし、誰も取り残さずに日本の発展を可能にする日本型のSDGsモデルになりえると考えています。	認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ
展示	NPO法人子育てひろば全国連絡協議会	NPO法人子育てひろば全国連絡協議会は、妊娠期から子育て期の子育て家庭を応援しています。地域子育て支援拠点法に位置付けられた市町村事業として全国に8000か所あり、はじめての妊娠・出産の不安・子育てによる孤独・孤立を払しょくし、当事者同士・地域とのつながりづくりを行っています。	NPO法人子育てひろば全国連絡協議会
展示	中野区『きかせてほしい きみのこと』～孤独・孤立対策アニメーション オンライン展示～	ショートアニメ『きかせてほしい きみのこと』はヤングケアラーをテーマに中野区とMAPPA、コントロールがタッグを組んで制作しました。「周りの変化に気づき声をかけてみよう！」「周りの人に自分のことを話してみよう！」このアニメーションが多くの人に届き、共感と理解を広げるきっかけとなるよう願っています。	中野区

ご参考:令和7年度5月「孤独・孤立対策強化月間」「ぷらっとばーす」オンラインイベント

カテゴリ	イベント名	イベント概要	団体名
展示	生活困窮者自立支援全国ネットワーク 家計改善支援の基本的な考え方と相談の流れ	平成30年度の厚生労働省社会福祉推進事業での補助を活用して作成したもので、生活困窮者自立支援法の家計改善支援事業を、分かりやすく伝えるためのものです。	一般社団法人生活困窮者自立支援全国ネットワーク
展示	ウエルシア薬局株式会社 地域の皆さま方と一緒に「ビューティーセミナー」	自分らしく、もっと輝く！静岡県内各地で開催されており、ビューティーセミナーをご紹介します。年齢や体の状態に関係なく、誰もが自分らしく、笑顔で過ごせる毎日を。 この講座は、高齢の方や障がいのある方に向けて、「負担なく」「安心して」楽しめる工夫をお伝えしています。 ・鏡を見るのが、ちょっと楽しくなる ・気持ちが明るくなる ・周りの人との会話もはずむ 小さな変化を大切に、おひとりおひとりのペースで進めます。道具の持ち方、色の選び方、ちょっとしたサポート方法など。今日から、自分をちょっと好きになれるメイクをはじめてみませんか？	ウエルシア薬局株式会社
展示	ウエルシア薬局株式会社 移動販売「うえたん号」	各地で移動販売車「うえたん号」を運行し、地域住民の生活支援や健康相談、コミュニティ創出に寄与しています。高齢化が進む地域において、買い物困難な高齢者や病院や薬局へのアクセスが不便なお客様への支援を目的としています。車輻に搭載された大型モニターを通じて、店舗の薬剤師や管理栄養士等とオンラインで健康相談が可能です。クレジット・キャッシュレス決済、WAON・Vポイント付与、公共料金収納代行など、利便性の高いサービスも提供しております。各自治体と連携し、地域住民のニーズに合わせた停留所選定も魅力のひとつです。 食品全般(冷蔵・冷凍食品含む)、生活用品、化粧品、医薬品(要・事前注文)など	ウエルシア薬局株式会社
展示	ウエルシア薬局株式会社 今すぐできる！コーヒーの美味しい淹れ方 ～おうちで手軽に本格派コーヒー～	「男のこだわりを一杯に」。「自分のための、最高の一杯」自分だけの時間を楽しむ、そんな時間に寄り添うのが、一杯の美味しいコーヒー。この講座では、初心者の方でも安心して始められるハンドドリップの基礎を男性にも楽しめる内容でお届けしています。"淹れる"というひと手間に、心を込める。 味わいだけでなく、香りや空間、そしてそのプロセスまで楽しむ。コーヒーの奥深い世界へ、ようこそ。	ウエルシア薬局株式会社
展示	こども家庭庁	①(こども向け啓発動画) こども・若者のみんなに、居場所づくりについて関心を持ってもらうために作った動画です！想いを受け止めて居場所をつくらうとする人が、あなたの周りにもきっといるはず。あなたが居たい・行きたい・やってみたいと思える場所を、探してみませんか。 ②(大人向け啓発動画) 今はまだ居場所づくりの取組に関わっていない、居場所づくりとは何かよく知らないという方にも、関心を持っていただくために作成した動画です。こども・若者の居場所づくりを進めるためには、こども・若者の想いに耳を傾け、おとなから歩み寄ることが大切です。こどもをみんなが支えていける地域づくりを目指し、何ができるかを一緒に考えてみませんか。 ③(子供向け説明動画) こども・若者のみんなに、居場所づくりって何か知ってもらうために作った動画です！居場所づくりの主人公はきみたち！「居たい」「行きたい」「やってみたい」と思える場所が増えていくように、みんなの声をたくさん聴かせてね！こども家庭庁は、こどもの居場所づくりを推進しています。 ④(大人向け説明動画) こども・若者の居場所づくりとは何かを考えていただくために作成した動画です。こども・若者の居場所づくりは、地域づくりにもつながるものです。おとな自身も含め、みんなの笑顔につながる居場所づくりを、一緒にやってみませんか。こども家庭庁は、こどもの居場所づくりを推進しています。	こども家庭庁
展示	総務省 行政相談「きくみみ」	きくみみでは、日々、行政が関わるお困りごとの相談に耳を傾け、解決に向けて対応しています。相談は無料、秘密はお守りします。日々の生活のなかで、「困ったな」と思ったとき、私たちに話してみませんか。	総務省

2025年 GW 孤独孤立相談実施報告

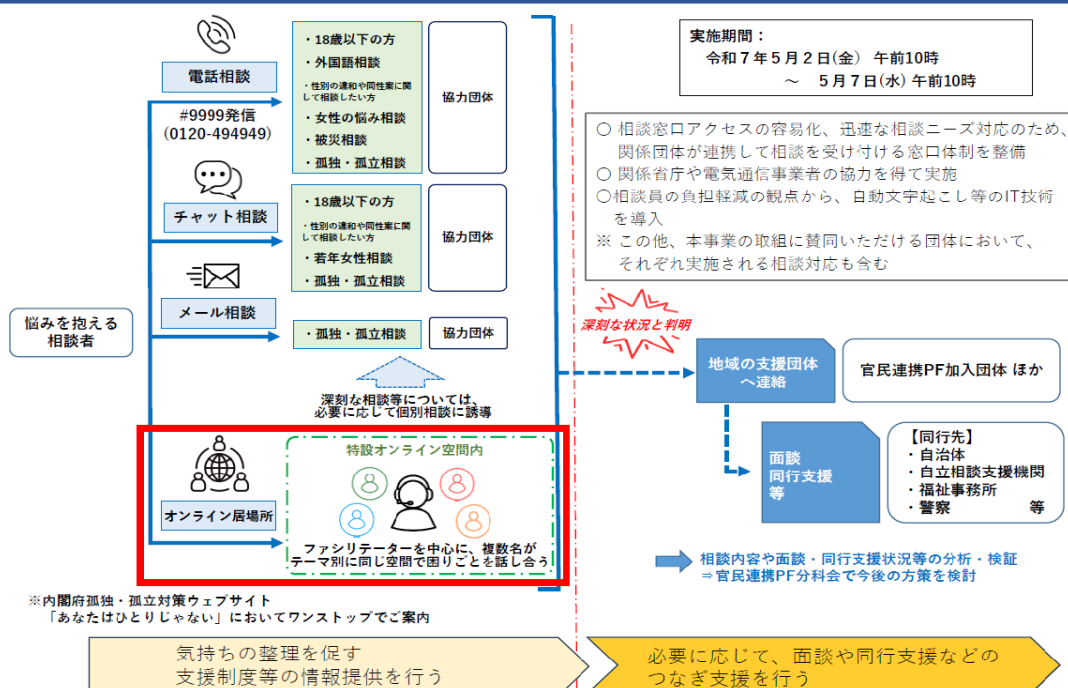
1 参加団体

18 団体 56 拠点

団体名	拠点数	相談方法
一般財団法人メンタルケア協会	17	電話
一般社団法人日本いのちの電話連名	7	電話
一般社団法人栃木県社会福祉士会	2	電話
日本産業カウンセラー協会	5	電話
公益社団法人鹿児島県社会福祉士会	1	電話
NPO ホットライン信州	2	電話
社会福祉法人生活クラブ	1	電話
釧路社会的企業創造協議会	1	電話
特定非営利活動法人抱樸	2	電話
一般社団法人群馬県社会福祉士会	1	電話
特定非営利活動法人チャイルドライン	10	電話・チャット
特定非営利活動法人虹色のかさ	1	電話
メンタルケア協議会	1	電話
(一社)生活困窮者自立支援全国ネットワーク	1	ぷらっとば〜す
認定 NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ	1	ぷらっとば〜す
特定非営利活動法人あなたのいばしょ	1	ぷらっとば〜す・チャット
特定非営利活動法人第3の家	1	ぷらっとば〜す
NPO 法人ライフリンク	1	ぷらっとば〜す
(一社)社会的包摂サポートセンター	14 (種別)	電話・チャット・メール・ ぷらっとば〜す

2 相談体制の概要

(令和7年度) 孤独・孤立対策強化月間における孤独・孤立相談 体制イメージ (案)



※#7で AI 対応による「ことのはダイヤル」も実施

3 回線対応時間帯等

相談種別	10	～	15	16	17	18	19	20	21	22	～	7	8	9		
電話	何でも相談 1															
	何でも相談 2															
	何でも相談 3													何でも相談 3		
	何でも相談 4													何でも相談 4		
	何でも相談 5													何でも相談 5		
	何でも相談 6													何でも相談 6		
	何でも相談 7													何でも相談 7		
	18 歳以下															
	女性相談															
	被災															
				セクシュアルマイノリティ相談												
外国語相談（留守電対応）																
SNS チャット相談	何でも相談（SNS チャット相談）															
				何でも相談（SNS チャット相談）												
				18 歳以下												
				女性相談（若年女性）												
				セクシュアルマイノリティ相談												
メール相談	メール相談（何でも相談）															
ぷらっとばーす	ぷらっとばーす（下表の通り）															

■ぷらっとばーす＝グループトークの実施内容

- ・SV を配置し、定員は10人で実施
- ・HP から参加希望者がフォームで登録し、参加可能な方にリンクをお送りする

	テーマ	ルーム名	開催日	開催時刻	
				開始時刻	終了時刻
1	不登校・ひきこもり・子育て ・生活困窮・暮らし全般	お金と暮らしのこと	5 月 2 日	18:00	19:00
2	不登校・ひきこもり・子育て ・生活困窮・暮らし全般	学校・大学がづらい	5 月 2 日	19:30	20:30
3	虐待・LGBT・不登校	少年少女の裏ルーム	5 月 2 日	20:30	22:00
4	シングルマザー	シングルマザーの部屋	5 月 4 日	20:30	22:00
5	セクシュアルマイノリティ	LGBTQ+交流会	5 月 3 日	16:30	18:00
6	セクシュアルマイノリティ	LGBTQ+交流会	5 月 3 日	18:30	20:00
7	セクシュアルマイノリティ	LGBTQ+交流会	5 月 3 日	20:30	22:00

8	依存	やめられないことある？	5月3日	20:00	21:00
9	孤独・孤立	孤独なきもちシェアルーム	5月2日	16:00	17:30
10	被災者	被災前日って何してた？	5月6日	20:00	21:00
11	子育て	ふたご・みつご育児の部屋	5月2日	16:00	17:00
13	子育て	お出かけしづらく引きこもり がちな親子の部屋	5月3日	20:00	22:00
14	発達障がい	発達障がいの生きづらさを語 り合う会	5月5日	20:00	21:30
15	自殺防止	死にたい、消えたい、生きづ らさ・・・そうした思いを率直 に語り合いませんか	5月2日	19:30	20:30
16	自殺防止	死にたい、消えたい、生きづ らさ・・・そうした思いを率直 に語り合いませんか	5月6日	19:00	20:00

4 電話数等

① 総電話数

2025年5月2日10時から2025年5月7日10時まですべての合計の電話数は9,568件、つながった件数は1,180件、接続率は12.3%となる。

期間	グループ	総呼数	完了呼数	接続完了率
2025年5月2日10時～7日10時	1(18歳以下)	78	37	47.4%
	2(外国語相談)	31	31	100.0%
	3(女性相談)	388	31	8.0%
	4(セクマイ相談)	401	34	8.5%
	5(被災相談)	22	11	50.0%
	7(なんでも相談)	7,940	889	11.2%
	ことのはダイヤル	164	147	89.6%
	OTHER	544	0	0.0%
	合計	9,568	1,180	12.3%

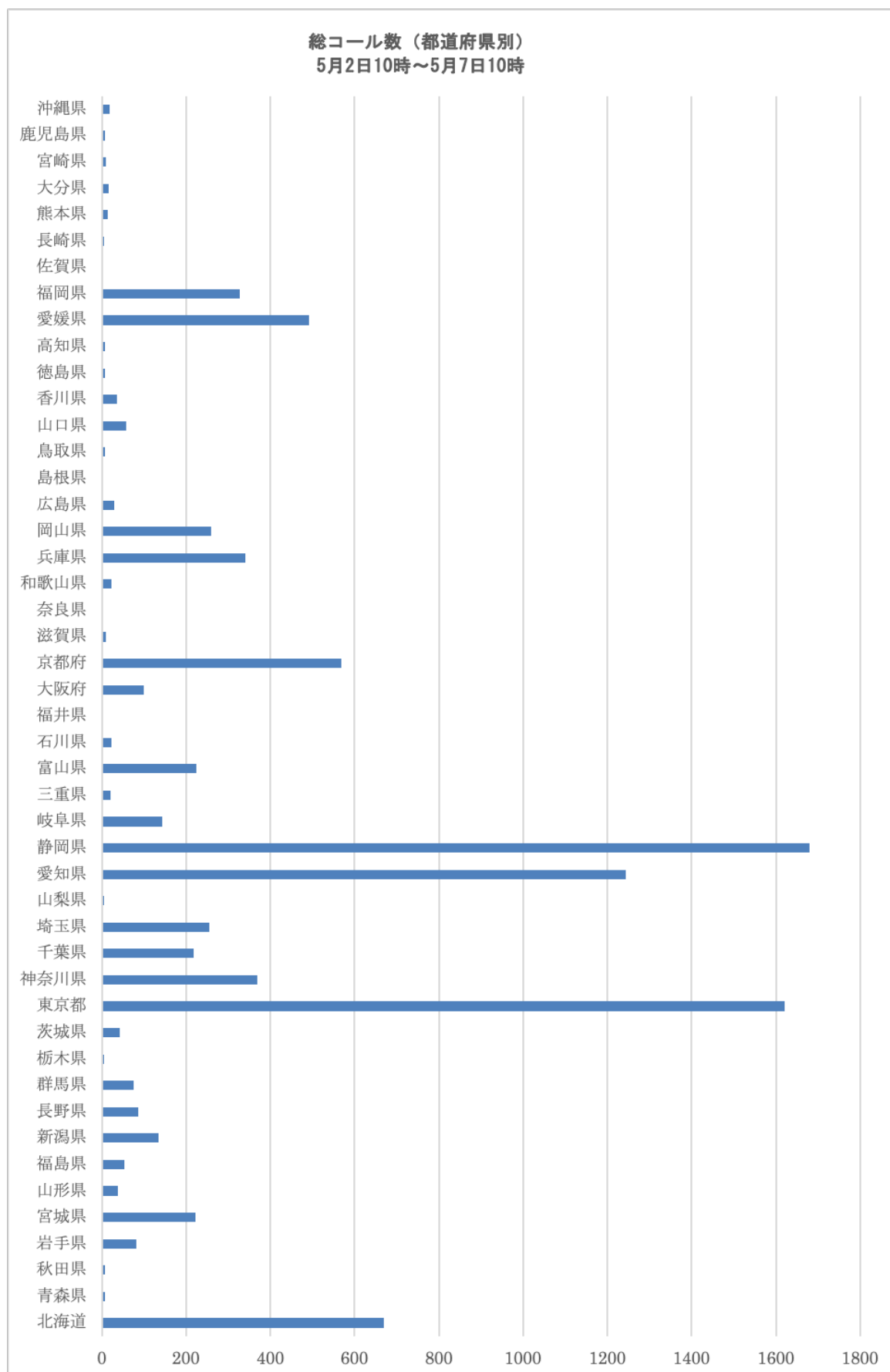
②日別総呼数

照会期間	総呼数	完了呼数	接続完了率
2025 年 5 月 2 日 10 時～	1, 067	234	21. 9%
2025 年 5 月 3 日	1, 607	217	13. 5%
2025 年 5 月 4 日	2, 006	202	10. 1%
2025 年 5 月 5 日	2, 122	230	10. 8%
2025 年 5 月 6 日	2, 316	236	10. 2%
2025 年 5 月 7 日 10 時	450	61	13. 6%
合計	9, 568	1, 180	12. 3%

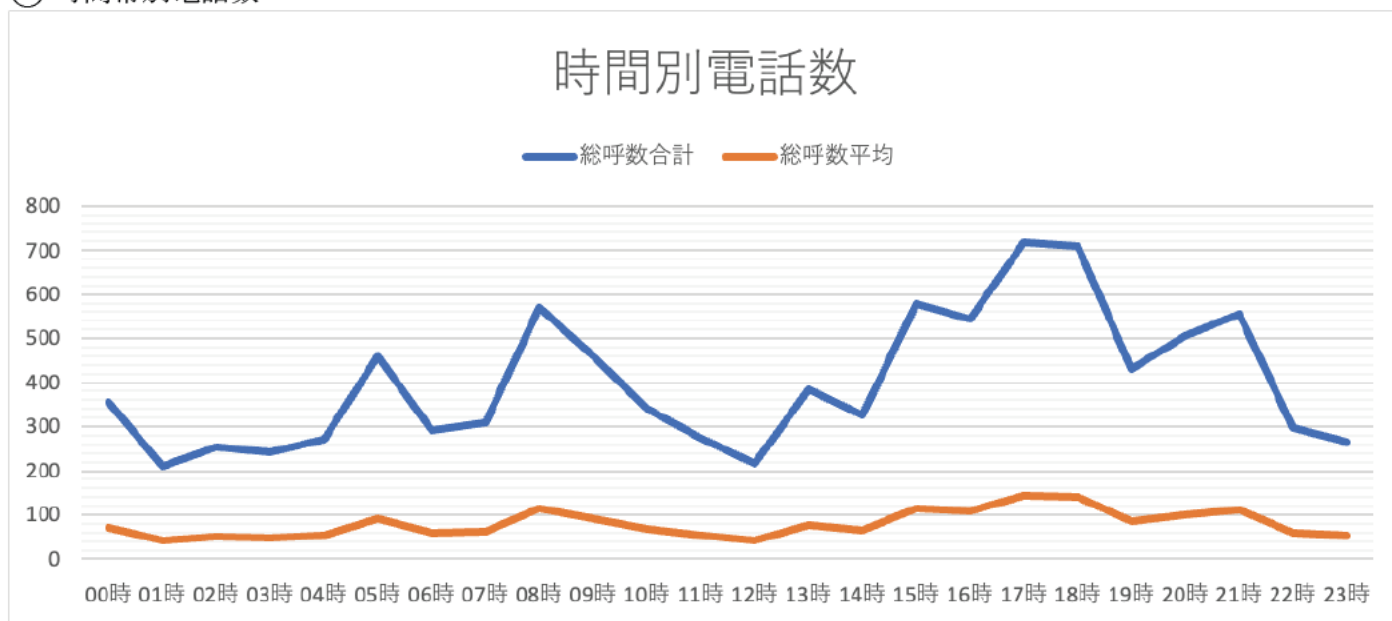
③都道府県別呼数

都道府県名	総呼数	完了呼数	接続完了率
北海道	670	109	16. 3%
青森県	8	4	50. 0%
秋田県	8	2	25. 0%
岩手県	81	20	24. 7%
宮城県	222	15	6. 8%
山形県	38	6	15. 8%
福島県	53	7	13. 2%
新潟県	134	27	20. 1%
長野県	86	13	15. 1%
群馬県	75	22	29. 3%
栃木県	6	0	0. 0%
茨城県	43	12	27. 9%
東京都	1620	180	11. 1%
神奈川県	368	38	10. 3%
千葉県	217	39	18. 0%
埼玉県	255	32	12. 5%
山梨県	5	1	20. 0%
愛知県	1244	91	7. 3%
静岡県	1681	130	7. 7%
岐阜県	143	30	21. 0%
三重県	21	2	9. 5%
富山県	225	24	10. 7%
石川県	23	6	26. 1%
福井県	0	0	0. 0%
大阪府	100	17	17. 0%
京都府	569	54	9. 5%

滋賀県	10	0	0.0%
奈良県	1	0	0.0%
和歌山県	23	5	21.7%
兵庫県	341	47	13.8%
岡山県	259	21	8.1%
広島県	30	3	10.0%
島根県	3	1	33.3%
鳥取県	8	0	0.0%
山口県	58	12	20.7%
香川県	35	8	22.9%
徳島県	8	2	25.0%
高知県	8	1	12.5%
愛媛県	492	58	11.8%
福岡県	328	126	38.4%
佐賀県	0	0	0.0%
長崎県	5	1	20.0%
熊本県	14	3	21.4%
大分県	15	3	20.0%
宮崎県	9	3	33.3%
鹿児島県	7	1	14.3%
沖縄県	19	4	21.1%
50	0	0	0.0%
合計	9568	1180	12.3%



④ 時間帯別電話数



⑤ チャット・メール相談数

チャット相談	期間	5月2日	5月3日	5月4日	5月5日	5月6日	合計
18歳以下の方	総件数	1	3	1	0	4	9
成立	1	2	1	0	4	8	
未対応	0	1	0	0	0	1	
セクマイ	総件数	1	5	0	2	3	11
成立	1	3	0	2	3	9	
未対応	0	2	0	0	0	2	
女性の悩み	総件数	1	3	2	3	1	10
成立	1	2	2	3	1	9	
未対応	0	1	0	0	0	1	
何でも相談	総件数	31	23	22	12	18	106
成立	16	15	7	9	9	56	
メール相談	受信数	3	2	1	1	4	11
対応件数	2	2	1	1	1	7	
総件数		37	36	26	18	30	147

⑤ぱらっとばーす参加者数

	団体	テーマ	実施日	参加者数
1	認定 NPO 法人フリースペースたまりば	不登校・ひきこもり・子育て・生活困窮・暮らし全般	5月2日	4
2	認定 NPO 法人フリースペースたまりば	不登校・ひきこもり・子育て・生活困窮・暮らし全般	5月2日	3
3	第3の家族	虐待・LGBT・不登校	5月2日	2
4	あなたのいばしょ	孤独・孤立	5月2日	5
5	社会的包摂	子育て	5月2日	3
6	ライフリンク	自殺防止	5月2日	3
7	社会的包摂	セクシュアルマイノリティ	5月3日	10
8	社会的包摂	セクシュアルマイノリティ	5月3日	7
9	社会的包摂	セクシュアルマイノリティ	5月3日	9
10	社会的包摂	依存	5月3日	4
11	社会的包摂	子育て	5月3日	4
13	しんぐるまざあず・ふぉーらむ	シングルマザー	5月4日	10
14	社会的包摂	発達障がい	5月5日	8
15	社会的包摂	被災者	5月6日	6
16	ライフリンク	自殺防止	5月6日	6

令和7年度 孤独・孤立対策強化月間における取組概要

- 「孤独・孤立に至っても支援を求める声を上げやすい、声をかけやすい社会」に向けた取組として、毎年5月を「孤独・孤立対策強化月間」とし、集中的な広報・啓発活動を実施(孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム分科会の検討成果)
- 社会全体で孤独・孤立対策に関する理解浸透や機運醸成を図るため、0次予防や取組の周知に焦点を当て、全ての国民を対象とした広報・イベントを展開

孤独・孤立対策強化月間HP
https://www.notalone-cas.go.jp/category/monthly/



広報

広報ポスター・ロゴ



- ▶ 幅広い年代や性別に親しみやすいデザインで、孤独・孤立対策が目指す社会像について周知・啓発
全国の自治体、PF※会員団体、各交通事業者、郵便局等での掲示やSNSでの発信にて展開

- ▶ PF※会員へ月間ロゴマークの活用を呼びかけ



※PF：孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム

月間特設Webページ

- ▶ 孤独・孤立の問題の啓発、支援・相談窓口を探せるチャットボットの紹介、月間中に全国各地で行われる取組の紹介等を行う月間特設Webページを開設

SNS広告、検索連動広告

X、YouTubeにおいて動画広告を配信
Google、Yahoo!で関連ワードを検索した方に月間ページへの誘導バナーを表示



相談窓口・イベント

孤独・孤立相談ダイヤル#9999

- ▶ 統一的な相談窓口体制の推進に向けた試行事業である孤独・孤立相談ダイヤルを5月2日～7日で開設



オンライン空間におけるイベント

2Dのオンライン空間を活用し、PF※会員団体等の協力をいただきながら、孤独・孤立対策の周知啓発などを目的とした各種イベントを実施
「孤独・孤立相談ダイヤル」の開設期間中、ぷらっとば～す上でも悩みを抱える当事者向けグループトークを実施

▽「つながりサポーター養成講座」のオンライン実施やトークイベント、ミニシンポジウム等を開催



【ぷらっとば～す開設期間】 令和6年5月2日(金)～5月11日(日) 午前10時～午後6時

社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金（内閣府孤独・孤立対策推進室）

7年度概算決定額 1. 4億円（6年度予算額1. 3億円）

6年度補正予算額 24. 0億円

事業概要・目的

- 令和6年4月に孤独・孤立対策推進法が施行され、「経済財政運営と改革の基本方針2024」※において、「孤独・孤立対策推進法に基づく重点計画に沿って、交付金等も活用しつつ、自治体とNPO等との連携推進のための地方版官民連携プラットフォームや地域協議会を立ち上げる段階の自治体への伴走支援（中略）などの取組を着実に推進する」とされています。※令和6年6月21日閣議決定。以下「骨太方針」という。
- また、「骨太方針」において、「この世代※への支援は（中略）、地方自治体と連携し個々人の状況に合わせ、就労に向けたリ・スキリングを含む幅広い社会参加支援を行う」※就職氷河期世代とされています。
- このため、孤独・孤立対策の安定的・継続的な推進に向けて、地方における官・民・NPO等の連携等による孤独・孤立対策の推進を支援します。

事業イメージ・具体例

- 1 孤独・孤立対策の安定的・継続的な推進に向けて、地方公共団体が実施する多様な主体による水平的な連携・協働体制の構築と地域の実情に応じた孤独・孤立対策に関する各種取組への支援を行うことにより、地方における孤独・孤立対策を推進します。
- 2 就職氷河期世代を含む中高年層について、地方公共団体と連携し、社会参加やり・スキリングを含めた就労・活躍に向けた支援を行います。共通の課題を抱える幅広い世代と併せて支援することによって、支援対象者にとっての選択肢を拡大し、政策効果を一層高めます。
- 3 孤独・孤立対策に取り組むNPO等の運営能力の向上や活動基盤の整備に取り組む中間支援組織を支援します。

資金の流れ



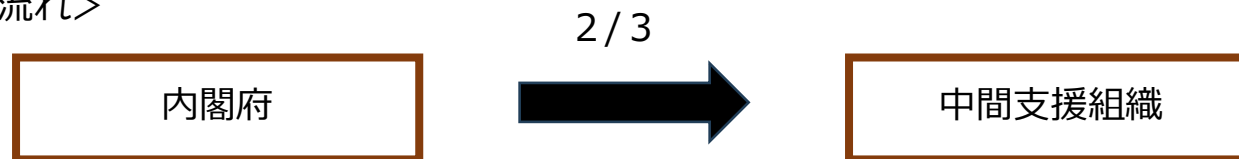
期待される効果

- 地方公共団体が主体となって連携・協働体制を構築するなどにより、全国各地で孤独・孤立対策が展開されます。また、就職氷河期世代支援の取組を活かすことにより、シナジー効果が期待されます。 14

社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金（孤独・孤立対策担い手育成支援事業）の概要

目的	孤独・孤立対策に取り組む民間団体に対して、運営能力の向上や活動基盤の整備を行う中間支援組織の取組を支援することにより、民間団体による安定的・継続的な孤独・孤立対策を推進する。
実施主体	中間支援組織（NPO等を支援する非営利法人） ※複数法人から構成されるコンソーシアムによる実施可
交付率	国 2 / 3、中間支援組織 1 / 3
交付基準額	900万円（交付上限額：600万円）
事業内容	日常の様々な分野における緩やかなつながりや居場所づくりに取り組むNPO等に対して、情報提供、相談対応、人材育成、ネットワーク形成等の伴走支援を通じ、個々の経営力や事業力を高め、地域の多様な主体との連携・協働や新たな取組を促進し、孤独・孤立対策の気運醸成と安定的・継続的な推進体制を構築する。 ※原則一つの都道府県を超えた区域で事業を実施すること ※民間団体への委託可 【取組例】 ・ 個々のNPO等の運営基盤（資金調達、会計処理、広報等）を強化するためのノウハウ普及 ・ 地域の孤独・孤立対策を推進するためのNPO等の人材育成とネットワーク形成の伴走支援 ・ 個々のNPO等が従来の活動領域を超えて行う取組促進のための専門家派遣やセミナー実施
対象経費	事業実施に必要な報酬、給料、職員手当等、保険料、諸謝金、旅費、消耗品費、印刷製本費、会議費、通信運搬費、雑役務費、借料、委託費、備品費、改修費（軽微なものに限る）

＜事業の流れ＞





内閣府

永田クラブ、経済研究会へ貼り出し

令和7年3月31日
内閣府
孤独・孤立対策推進室
地域就職氷河期世代
支援加速化事業推進室

**社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金
(地方における社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進事業)
交付団体(第1次)の決定**

孤独・孤立対策推進法(令和5年法律第45号)では、「孤独・孤立の状態は人生のあらゆる段階において何人にも生じ得るものであり、(中略)社会のあらゆる分野において孤独・孤立対策の推進を図ることが重要である」との基本理念の下、地方公共団体に対して、当事者等への支援を行う関係者相互間の連携と協働を促進するために必要な施策を講ずること等を努力義務として定めています。

地方公共団体が行うこうした取組を後押しするため、令和6年度に、都道府県を対象とした孤独・孤立対策推進交付金を創設し、7年度は、支援対象を市区町村にまで拡充しました。

さらに、これまで地域就職氷河期世代支援加速化交付金(以下「氷河期交付金」という。)を通じて行ってきた支援についても、政府方針(※)を踏まえ、孤独・孤立対策推進交付金に統合し、新たな社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金の個別支援事業として、就職氷河期世代を含む中高年層について、自治体が個々人の状況に合わせて行う支援を引き続き後押ししていくこととなりました。

上記について、この度、**297 地方公共団体を令和7年度の交付団体として決定**しました。

引き続き、孤独・孤立対策推進法等に基づき、地方公共団体への支援等を通じて、対策の一層の強化・深化に取り組めます。

※ 「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」(令和6年11月22日閣議決定)(抜粋)

第2章第3節4(5) 困難に直面する者・世帯への支援等による安心・安全の確保

これまでのリ・スキリング等の支援の成果を踏まえ、就職氷河期世代を含む中高年層について、地方公共団体と連携し、社会参加やリ・スキリングを含めた就労・活躍に向けた支援を行う。その際、就職氷河期世代については、共通の課題を抱える幅広い世代と併せて支援することによって、支援対象者にとっての選択肢を拡大し、政策効果を一層高める。

1. 全体の概要

○団体数 : 297 地方公共団体(39 都道府県／17 指定都市／241 市区町村)

※指定都市及び市区町村は、広域連携事業の連携自治体を含む。

○事業費 : 22.8 億円(交付金額 17.0 億円)

2. 交付対象事業別の概要

(1)地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム構築事業及び基盤整備事業【別紙1】

○団体数 : 51 自治体(24 道県／3指定都市／24 市区町村)

※市区町村は、広域連携事業の連携自治体を含む。

○事業費 : 1.8 億円(交付金額 0.8 億円)

(2)個別支援事業【別紙2－①②③④】

○団体数 : 272 自治体(30 都府県／15 指定都市／227 市区町村)

※指定都市及び市区町村は、広域連携事業の連携自治体【別紙2－②】を含む。

○事業費 : 21 億円(交付金額 16.2 億円、事業数 106 事業)

○取組事例

— リ・スキリング支援事業【別紙2－③】

— 広域連携事業【別紙2－④】

※ 氷河期交付金において過去に採択した事業や取組事例等については、以下のサイトに掲載しています。

https://www5.cao.go.jp/keizai1/c_hyogaki/c_hyogaki.html

【連絡先】 2. (1)に関する部分

内閣府 孤独・孤立対策推進室

土屋企画官、岡村参事官補佐

Tel : 03(3581)0458(直通)

2. (2)に関する部分

内閣府 地域就職氷河期世代支援加速化事業推進室

酒巻参事官、中山参事官補佐

Tel : 03(6257)3961(直通)

※令和7年4月1日以降は内閣府 孤独・孤立対策推進室に問い合わせください。

地方版孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム構築事業及び基盤整備事業一覧
(令和7年4月1日現在)

【別紙1】

【24道県】

地方公共団体名	交付対象事業の概要	事業費(千円)
北海道	声を上げやすく、声をかけやすい環境整備に向けた周知動画制作・発信	3,008
青森県	支援関係者の資質向上のための講演やワークショップの実施	1,116
秋田県	ひきこもり支援に関する行政職員研修・県民公開講座の実施	442
山形県	人々のつながりに関する基礎調査（山形県版）の実施等	8,000
福島県	強化月間の広報、管内市町村の孤独・孤立対策推進に向けた支援等	2,438
群馬県	つながりサポーター養成講座、支援機関等向け研修会の開催等	4,848
埼玉県	優良取組紹介動画の制作、ポータルサイトを活用した事例共有等	5,302
神奈川県	地域の「緩やかなつながりの場」のマップ化とポータルサイトでの発信等	7,089
新潟県	プラットフォームの構築、支援人材の養成に向けた研修会の開催等	279
富山県	関係団体の孤独・孤立に関する理解浸透・連携強化に向けた勉強会の開催	1,000
山梨県	つながりサポーター養成講座の実施	1,500
岐阜県	中間支援組織の事業への補助、各圏域でのプラットフォーム部会の開催等	8,370
静岡県	自身の悩みに気づくためのストレスチェックの普及啓発	1,188
愛知県	シンポジウムの開催、啓発ツールの制作・配布等	2,898
滋賀県	孤独・孤立の問題や心の健康づくりに関する啓発のための講演会等の開催	1,005
兵庫県	プラットフォームの構築、連携体制推進のための会議・研修等の実施	442
鳥取県	「生活困りごと相談窓口」の運営、ワークショップの開催・広報等	23,065
岡山県	プラットフォームの構築、シンポジウムの開催等	6,706
徳島県	プラットフォーム参画団体の勉強会等の開催、取組団体への補助等	5,500
香川県	プラットフォームのコア会議・シンポジウムの開催、支援団体の調査	800
愛媛県	地域協議会の設置、プラットフォームの運営・交流会の開催、広報等	6,000
高知県	ひきこもりの人等への支援事業に対する補助、ポータルサイトによる周知啓発	6,600
佐賀県	プラットフォームの構築、シンポジウムの開催等	2,000
熊本県	誰もが集い、支え合う地域の拠点「地域の縁がわ」の取組促進	3,002

【21市区町村】

地方公共団体名	交付対象事業の概要	事業費(千円)
岩手県陸前高田市	被災者の孤立防止を目的とした市民交流プラザへの相談員配置	2,480
群馬県みどり市	プラットフォームの研修会・幹事会・情報交換会の実施	316
埼玉県川口市	人々のつながりに関する基礎調査（川口市版）の実施	3,340
東京都品川区	孤独・孤立の深刻化予防としてのオンラインカウンセリング体制の構築	4,127
東京都中野区	普及啓発のための「中野区孤独・孤立フォーラム」の開催	2,609
東京都町田市	「町田市地域活動サポートオフィス」による地域課題解決の担い手支援	24,096
長野県須坂市	「地域の居場所」のデジタルマップ化と広報	495
名古屋市	プラットフォームの構築、孤独・孤立の実態把握調査等	7,054
愛知県岡崎市	ポータルサイトやポッドキャストによる周知啓発、フォーラムの開催等	1,204
愛知県豊田市	市民や団体のつながりづくりの場の周知・啓発等	5,112
愛知県長久手市	働きづらさを抱える人が就労により社会とつながるきっかけを作る事業等	970
京都市	「お悩みハンドブック」の運用、つながりサポーター養成講座の実施等	2,813
京都府長岡京市	地域における居場所づくり推進に向けた検討、住民参画の企画・運営等	1,535
兵庫県姫路市	プラットフォームの構築、孤独・孤立対策に関する市民への周知啓発	99
兵庫県播磨町	ワンストップ相談窓口における相談支援、地域の居場所創出の促進等	4,000
奈良県生駒市	ポータルサイトによる周知啓発、先進地視察等	990
奈良県川上村	公民館等への居場所機能付与と利活用につなげる試験的取組の実施	5,096
鳥取県鳥取市	つながりサポーターの養成と取組の発展、地域協議会の設置等【広域】	5,522
鳥取県大山町	リンクワーカー「おせっかい人」の養成と暮らしの保健室の開催等	4,000
広島県東広島市	民間事業者のチャット相談サービスを活用した相談体制の整備・広報等	2,519
熊本市	つながりサポーター養成講座や講演会の開催、地域協議会の設置等	1,370

※【広域】の連携自治体

地方公共団体名	連携自治体名
鳥取県鳥取市	(鳥取県) 岩美町、若桜町、智頭町、八頭町 (兵庫県) 香美町、新温泉町

地域における孤独・孤立対策に関する N P O 等の取組モデル調査 の公募開始について

孤独・孤立の予防や早期対応に資する N P O 等の先駆的な取組を支援する「地域における孤独・孤立対策に関する N P O 等の取組モデル調査」について、公募を開始しました。

1 調査概要

N P O 法人や社会福祉法人等の非営利団体を対象として、日常生活環境での緩やかなつながりや居場所づくりに関する先駆的な取組への支援を行い（上限200万円）、そのプロセスや成果を取りまとめ、全国展開を図ります。

2 公募期間

令和 7 年 4 月 21 日～ 5 月 30 日正午

3 公募 URL（※株式会社 N T T データ経営研究所の Web サイトです。）

https://www.nttdata-strategy.com/newsrelease/news/kodoku_koritsu_koubo/

お問い合わせは、公募要領に記載の問い合わせ先に直接ご連絡ください。

【担当】

内閣府孤独・孤立対策推進室 土屋、中瀬、寺島

電話：03-3581-4537（内線 82857）

令和7年度シンポジウムについて

■検討事項

- 令和7年度シンポジウムのテーマ、担当幹事の決定
- 今年度におけるシンポジウムの検討の進め方について
(以下から2つ程度を選定)

■これまでにいただいたテーマ案

①こどもへの支援の在り方 (シェルターネット北仲様より)

現時点のアイディアではあるが、前回のテーマはジェンダーだったため、例えばこどもに関わるテーマはどうか。様々な角度から議論いただけるのではないかと考える。

②SNS とリアルとの繋がり/共通性

(ライフリンク根岸様より)

SNS のつながりとリアルなつながりは別ものだと捉えている。SNS は便利だが、孤独感を覚えている人は多い。SNS とリアルのつながりについて、これらの違い・共通性などをテーマとするのはどうか。

(あなたのあなたのいばしょ鈴木様より)

候補②に賛成する。当方もオンラインでの相談窓口を運営している関係から、お役に立ちできそうだと考えている。SNS の裏に潜む恐ろしさや、その反面、そこを居場所としている人々にとっては希望の場所であることをデータを交えながら、議論してはどうか。孤独を抱える人々にとって、SNS とリアルではどのような認識の違いがあるのか議論してみたい。

③暮らしやすい集合住宅やつながりを生む住宅の在り方

(子育てひろば奥山様より)

国土交通省の社会資本整備審議会委員を務めているなかで、住まい方が大事だと感じている。一人暮らしが増えていることを踏まえ、暮らしやすい集合住宅や、つながりを生む住宅のあり方についてのテーマはどうか。ヨーロッパは住まい方を意識して居住空間を作っている。日本はまだ意識が弱いので、いずれこういったテーマがあると良いと考えている。

④多世代型の居場所づくり/地域づくりの在り方 (新公益連盟井澤様より)

むすびえの湯浅様(多世代交流拠点としてのこども食堂)や抱樸の奥田様(希望のまちプロジェクト)が進めておられる活動の現状を、お2人にご紹介いただきながら、改めて、多世代型の居場所づくり、地域づくりについて考えるシンポジウムを検討してはいかがか。

■今後に向けて

実施時期(昨年度は、11月、1月に実施)までにパネリストの選定、テーマに沿った具体的内容を検討

ご参考：おおよそのスケジュールイメージ（3回実施の場合）

月	幹事会 開催日	シンポジウム（開催時期目安）			総会関連イベント （3月頃開催）
		第1回（9月頃）	第2回（11月頃）	第3回（1月頃）	
5月	21日 （水）	テーマ/担当幹事/開催順番の決定			
6月	—	担当幹事会で企画 の検討	—	—	—
7月	16日 （水）	担当幹事会での企 画の決定 幹事会での報告	—	—	—
8月	—	広報集客	担当幹事会で企画 の検討	—	—
9月	17日 （水）	開催結果報告	担当幹事会での企 画の決定 幹事会での報告	—	—
10月	—	—	広報集客	担当幹事会で企画 の検討	—
11月	1日（水）	—	開催 結果報告	担当幹事会での企 画の決定 幹事会での報告	—
12月	—	—	—	広報集客	担当幹事会で企画 の検討
1月	21日 （水）	—	—	開催 結果報告	担当幹事会での企 画の決定 幹事会での報告
2月	—	—	—	—	—
3月	—	—	—	—	開催
	18日 （水）	—	—	—	結果報告

参考情報

令和7年度シンポジウムのテーマ候補に係る有識者会議等での発言など
(一部抜粋)

■第26回幹事会、及び、メールで提案いただいたテーマ候補

①こどもへの支援の在り方

会議（日時）/ 資料名	記録・発言要旨
三原大臣記者会見 (令和7年4月15日) リンク	三原大臣) こうした「孤立」の問題がある一方で、足元ではこどもの自殺者数が過去最高となり、特に若年層が「孤独」の問題を抱えていることが背景にあるのではないかと指摘をされております。引き続き、「孤独感」が高い若年層へのアプローチを重視しつつも、生前において社会とのつながりを失い、孤立死に至ることを予防するため、社会的に孤立する方を1人でも減らしていくことも重要と考えております。こうした観点も踏まえながら、プロジェクトチームにおいて精力的に議論を行い、本年夏頃に取りまとめができるように、しっかりと議論を深めてまいりたいと思います。プロジェクトチームの詳細につきましては、孤独・孤立対策推進室にお尋ねいただければと思います。
第3回孤独・孤立対策の在り方に関する有識者会議(令和7年4月7日開催) 議事録	横山構成員) 大阪市でこどもの貧困対策の会議に入らせていただきましたときに、不登校で卒業された後、つながりが切れてしまうというのがありまして、その支援というのは非常に重要だと伺っております。そういった方々を保健師がキャッチするというのはなかなか難しい。キャッチしたときには非常に深刻な状況になっているというような状況があると思います。
第2回孤独・孤立対策の在り方に関する有識者会議(令和7年3月4日開催) 議事録	近藤構成員) 孤立しがちなこどもに出会う場としては、学校もありますけれども、不登校だと見つからない等々あります。一方、医療機関でも出会います。小児科の先生方の中には、この子は家庭全体と関わっていかないと、病気の治療うまくいかないし、生活のほうもうまくいなくなってしまうのではと感じながらも、医療で行えることの限界を感じてもやもやしながら医療をやっている先生方もいらっしゃいます。ぜひ医療機関と連携して孤独・孤立のお子さんたちにアウトリーチして、適切に対応していくような仕組みができないかということを感じます。具体的に言うと、厚労省の別部局、保険局が以前行っておりました「保険者とかかりつけ医等の協働による加入者の予防健康づくり事業」があります。社会的処方モデル事業ですけれども、時

	間があれば、後ほど紹介したいと思っていますが、保険者、つまり保険者である自治体等とかかりつけ医の先生方が連携して、孤独・孤立のアウトリーチとファーストコンタクトの対応の仕組みモデルをつくりました。しかしこの事業、これは保険者向けだったで、仕組み上、医療扶助が対象として入っていなかったのです。ぜひ医療扶助か否かに限らず、医療者を起点とした孤独・孤立対策を進めることを引き続き検討していただきたいと思います。
--	---

②SNS とリアル繋がりとの違い/共通性

会議（日時）/ 資料名	記録・発言要旨
第3回 安心・つながりプロジェクトチーム 会議（令和7年3月24日） 議事録	石田構成員） SNS 以上、しがらみ未満のつながりが大事というところがすごく私も印象に残っておりまして、こういったつながりが本当に今、求められているのだと思う一方、こういったことはいわゆる強制力による部分をどこまで入れるのか。強制的と言うとちょっと言い方は悪いのですけれども、とにかく強制というのを嫌うという風潮がすごくあって、強制的に頼らず施設に来てもらう仕組みに恐らく頭を悩ませている人はすごくいるのではないのかなという気がする
第1回 安心・つながりプロジェクトチーム（令和7年2月20日） 議事録	石田構成員） 今の私達の社会は、一人で楽しむための選択肢が非常に多いわけです。一人でいることと、誰かとつながるという選択肢を二つ用意した場合には、もう私達は一人で十分に生活できるようになってしまったし、十分楽しめるようになってしまったと。 …（中略）そうすると、ますますつながることが億劫になってしまって、人とつながる筋肉が落ちてしまって、ますます人と会わなくなる。ますます人と会わなくなると、さらに人と会うというのが面倒くさくなってしまうので、結果として「つながりフレイル」みたいな状況になってしまうということが、今後、予測できます
第1回 孤独・孤立対策の在り方に関する有識者会議（令和7年1月21日開催） 議事録	森山構成員） メタバース空間のプラットフォームについては、様々な御意見があることも承知しているのですけれども、今後、自身にどのような問題が降りかかってきたのかということなどを提示できたりですとか、相談も自分のことを相談できたりするようなオンライン空間への支援というのも重要だと思っております。例えば、具体的な相談をしたいと思っても、まだまだデジタル化が進んでいない側面もありまして、まず、資料を対面で取りに行かなけ

	ればならない自治体もまだまだあるのかなと思っております。
	森山構成員) 見守り、交流の場や、居場所を確保し、人と人とのつながりを実感できる地域づくりを行うともあるのですけれども、居場所支援1つとっても、まだまだコロナなどの感染症のおそれもある中で、心だけではなく、体の病気を含めて様々な理由で、相談先などの外に出ることができない人への対応というのも重要だと思っております。

③暮らしやすい集合住宅やつながりを生む住宅の在り方

会議（日時）/ 資料名	記録・発言要旨
第2回孤独・孤立対策の在り方に関する有識者会議（令和7年3月4日開催） 議事録	厚生労働省) 人口減少でありますとか、単身化が進む中で、血縁であるとか、地縁であるといった従来あった関係性が薄れる中で、地域の中で全ての人が支えられる側にもなりますし、支える側にもなるということで、そういった枠を超えて、地域の中で全ての人が支え合うといった地域共生社会を目指して、今、我々は取組を進めているところであります。地域共生社会を実現するために、福祉側ではいろいろな取組をこれまで行ってきております。具体的には社会福祉法という法律の中でそういった位置づけをしましたり、具体的な包括的な支援体制の規定を整理したりということをやってきております。こうした地域共生社会を実現するためには、地域住民でありますとか、関係機関の皆様との協働が必要だと思っております。まちづくりでありますとか、地域づくり、そういったところとの関連性は非常に強いと思っております。厚労省分野とか、福祉分野を超える他分野との協働、一緒に取り組んでいく取組が今後さらに必要になってくると考えております。 厚生労働省) 生活困窮者自立支援制度につきましては、まさに10年前にできた仕組みでありますけれども、制度のはざまをつくらないという考え方、理念の下で、包括的な支援体制の重要な要素の一つとして考えられているものであります。この制度でありますけれども、生活困窮という切り口で幅広く支援対象を受け止めていくという考え方ではありますが、先ほども申し上げましたように、近年、単身化でありますとか、高齢化も進んでいるという背景も踏まえ、今回は住まい支援という観点で、その強化を図る見直しを行った

	ところでございます。地域で孤立・孤独といった状態にある方でありますとか、今、申し上げた単身化のような方も含めまして、こうした方については、生活困窮者支援でありますとか、住まい支援の強化が重要だと考えております。
第1回安心・つながりプロジェクトチーム（令和7年2月20日） 議事録	三原大臣） 今後、我が国では単身世帯、そして単身高齢世帯の増加が見込まれ、孤独・孤立の問題の深刻化が懸念されており、こうしたことに備えた孤独・孤立対策の在り方を検討するため、このプロジェクトチームを発足することといたしました。私自身、先月、能登地方の仮設住宅と神奈川県藤沢市の多世代交流賃貸アパートなどを視察し、お住まいの方や、そうした方々のための居場所づくり・つながりづくりを行っている方々と意見交換を行い、孤独・孤立を予防するための取組をお聞かせいただき、改めて大変重要な施策であると実感いたしました。このプロジェクトチームでは、そうした多世代交流の視点も含めたつながり・居場所づくりが重要との認識の下、長期的な視野に立ち、現役世代も含めた単身高齢者等の孤独・孤立状態の予防の観点から、必要な取組について検討を行うこととしております。つながり・居場所づくりの支援の現場の方々などからもヒアリングを行いながら、本年夏頃に議論の取りまとめができるように、それまでにしっかりと議論を深めたいと考えております。

④多世代型の居場所づくり/地域づくりの在り方

会議（日時）/ 資料名	記録・発言要旨
第1回安心・つながりプロジェクトチーム（令和7年2月20日） 議事録	三原大臣） 今後、我が国では単身世帯、そして単身高齢世帯の増加が見込まれ、孤独・孤立の問題の深刻化が懸念されており、こうしたことに備えた孤独・孤立対策の在り方を検討するため、このプロジェクトチームを発足することといたしました。私自身、先月、能登地方の仮設住宅と神奈川県藤沢市の多世代交流賃貸アパートなどを視察し、お住まいの方や、そうした方々のための居場所づくり・つながりづくりを行っている方々と意見交換を行い、孤独・孤立を予防するための取組をお聞かせいただき、改めて大変重要な施策であると実感いたしました。このプロジェクトチームでは、そうした多世代交流の視点も含めたつながり・居場所づくりが重要との認識の下、長期的な視野に立ち、現役世代も含めた単身高齢者等の孤独・孤立状態の予防の観点から、必要な取組について検討を行うこととしております。つながり・居場所づくりの支援の現場の方々などからもヒアリングを行いながら、本年夏頃

	に議論の取りまとめができるように、それまでにしっかりと議論を深めたいと考えております。
第1回孤独・孤立対策の在り方に関する有識者会議（令和7年1月21日開催） 議事録	三原大臣） また、私自身、先週15日に能登地方を視察させていただいて、被災地において仮設住宅にお住まいの皆様、支援活動に従事されている方々等とも、車座で意見交換を行ってまいりました。町内会ですとか、見守り支援を担う住民の方、そして、社会福祉協議会ですとか地域の病院、NPOの方々、リハビリ教室ですとか、畑づくりですとか、そうした工夫を行う中で、御高齢の方をはじめ、お一人で住まわれている方々が、人とのつながりを持ち始めていることを伺いまして、地域の居場所づくり、つながりづくりということが本当に必要だなということを改めて、実感したところでございます。